



「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成
～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～

泉佐野市立第三小学校

新たな学年に向けて



むかしから「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」と言われますが、早いもので、今日から2月を迎えました。

保護者の皆さまには、お忙しい中にもかかわらず、先日の学習参観に多数ご来校いただきまして、ありがとうございました。

学校ではこれから、教職員と子どもたちが1日1日を大切に過ごしながら、今年度のまとめと次年度への準備を少しずつ進めていきます。そこで、家庭と連携しながら3つのことに取り組んでいきたいと考えております。

1. 持ち物の点検や準備を。

学用品など、学習に必要な持ち物の点検や準備をお願いいたします。【高学年の保護者さんは「手を離して、目を離さず」の精神で】学習具をそろえることで、「これからも、しっかりがんばろう。」とする、子どもたちの前向きな心にもつながります。6年生のみなさんは、中学校入学の準備とともに、気も引き締まってくるのではないのでしょうか。

2. 家庭学習の充実を。

学校からは、学習の定着をねらいとした宿題（ドリルなど）とともに、子どもたちが自分自身の学びを見つめ、自主的に学習に取り組む姿勢を育むための『自学』を出しています。どうぞ、子どもたちへの自学自習のお声かけをお願いいたします。【5・6年生は2学期に配付しました『マイ・ノート』の活用も効果的です。】



3. あいさつが生活習慣となるよう。

本校の教育目標でもある、『自分からあいさつのできる子』に育ってもらうため、「なぜ、あいさつすることは大切なの？」と問いかけてあげてください。毎朝、私が正門の前に立っていて感じることは、「気持ちの良いあいさつができる子は、習慣として身に付いている。」ということです。その子どもの一生の財産とも言えるのではないのでしょうか。どなたに対しても、「おはようございます。」の一言で、心は伝わるものです。

皆さま、ご協力のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

校長 泉谷 一